

死亡者 9 名 過去 10 年で最多

山形県内で発生した労働災害(平成 27 年 1 月～7 月)で 9 名の尊い命が失われています。労働災害はいかなる状況下においてもあってはならないものであり、とくに死亡災害は家族も含め多くの方に大きな悲しみが生じます。

働く方一人ひとりが互いに注意して、今日も一日を安全に過ごしましょう。



死亡事例 1 国道を走行中、緩い左カーブで対向車線にはみ出して対向車と正面衝突した。

死亡事例 2 山林で伐採作業中、長さ 26.8m の伐倒木の下敷きになった。

死亡事例 3 搬送用ホッパー下部の扉を開けて内部を清掃作業中、扉が閉まって頸部を挟まれた。

死亡事例 4 鉄塔上で送電線の張替作業中、アース線が外れて誘導電圧により感電した。

死亡事例 5 山林で伐採作業中、高さ 5m 位置の腐食した枝が落下して激突した。

死亡事例 6 国道を走行中、前方を走行していたダンプトラックに追突した。

死亡事例 7 ばい煙濃度を測定するためプラント内を移動中、稼動してきた搬送設備に頭部を挟まれた。

死亡事例 8 天井クレーンで高圧洗浄機の片付け作業中、吊り具のベルトが外れて洗浄機が落下し激突した。

死亡事例 9 走行集材機械で林道を走行中、路肩個所で運転操作を誤り、約 17m 下の沢に転落した。

これらの事例では、殆どが単独の作業中に発生し、発生原因としては周囲の状況を十分に確認していなかったこと、作業経験が不足していたことなどがあります。

労働災害を起こさないためには

- 作業開始前の確認、点検を確実に行いましょう。
- 慣れない作業はアドバイスを受けましょう。
- 高所作業などの危険な作業は複数で行いましょう。
- 車の運転は十分な睡眠・休憩・車間距離を取りましょう。

